

# 活動名:受け継がれてきた種、未来へ咲かす～種の継承・普及事業～

実績:250千円

【内訳】  
委託費 250千円

## 【活動目的・背景】

飛騨市には古くから栽培され、地域の食文化を支えてきた伝承作物(現在16品種登録)があります。これらの作物は長年の栽培の中で地域特有の性質を受け継ぎ、独特の風味や食感を持つものとして大切にされてきました。

そのため飛騨市では、これらの伝承作物を守り未来へ受け継ぐため、種の普及や活用方法について様々な取り組みを行ってきました。

この取り組みは、これらの伝承作物を農薬・化学肥料に頼らない栽培方法で育て、栽培履歴に基づいて栽培マニュアルを作成し、市内での普及につなげていくことを目的としています。



白たまご



種蔵紅かぶ



たかきび

## 【活動内容】

飛騨市伝承作物16品種のうち、初年度は4品目について栽培を行い、自然農法による栽培マニュアルの作成を行いました。また、これら伝承品種がこの地域に根付いてきた背景や、種をテーマにした市民向けのお話会を行いました。

### 【栽培管理】

- 実施期間 令和6年4月～12月
- 取組圃場 飛騨市古川町畦畑地区(標高700m付近)
- 作成者 ソヤ畦畑農園 森本悠己
- 品 種 白たまご(いんげん)  
種蔵紅かぶ  
船津かぶら  
たかきび

### 【お話会とミニ試食会】

- 実施日 令和6年12月14日(土)10:00～12:00
- 場 所 SATOYAMA STAY
- 参加人数 22名
- 話し手 ソヤ畦畑農園 森本悠己  
たかきび生産者 中畑幸雄  
白たまご生産者 禰宜洞きぬ子 ほか

## 【成果】

4種類の伝承作物について、自然農法による栽培マニュアルを作成しました。これにより、農薬や化学肥料に頼らない持続可能な栽培方法が確立され、普及の足掛かりになりました。

また、お話会とミニ試食会を通じて、伝承作物の魅力やその背景を市民に伝えることができました。参加者からは「初めて伝承作物のことを知った」「自然農法で作られた作物はととても美味しい」といった声が聞かれ、伝承作物への関心と有機農業への理解を深めることができました。